

開催趣旨

実践真宗学研究科は、「現代社会の諸問題に対して、宗教がいかにしてその使命を果たしているか」という課題に応えるために、諸科学との学際的かつ総合的・融合的な研究の推進とともに、より実践的な宗教研究を行っています。魅力的な宗教実践の事例に学び、多職種と協力して創造的に実践できるようにめざしています。

本研究科の宗教的実践は、「寄り添う、伝わる、深く聞く」「心を寄せてそこにいる」「慈悲と非暴力の姿勢を重んじ、差別のない平和な世界を願う」「多様性を尊重する」等を基調としています。宗教的実践者には、人々の不安を聞き、その人の支えとなるものとのつながりを再確認して、生きる力を育む援助が期待されます。如来の大悲にいだかれて、自らの無力さを省みながら、一人ひとりの解決のつかない課題に向き合い、世の安穩のために努力する人を育成する実践真宗学研究科でありたいと思います。

そこで、本シンポジウムでは、「ケアにおける宗教性 大悲にいだかれ 心を寄せてそこにいる」というテーマを掲げて、東北大学大学院文学研究科教授の高橋原氏、あそかビハーラ病院緩和ケア前ビハーラ室長の花岡尚樹氏とビハーラ僧の渡辺有氏をお招きして、皆様と共に考えたいとおもいます。

実践真宗学研究科

実践真宗学研究科長 那須 英勝

社会実践分野担当 森田 敬史
鍋島 直樹

ケアにおける宗教性 大悲にいだかれ心を寄せてそこにいる

第一部

- 13時30分～【総合司会】石川 みゆき (1年次生)
【第一部進行】
龍谷大学文学部教授 ぐさかご No.1
鍋島 直樹氏
- 13時35分～【基調講演1】
「ケアにおける宗教性の問題
～臨床宗教師養成の10年を振り返る～」
【講師】
東北大学文学研究科教授/死生学・実践宗教学専攻分野/
実践宗教学寄附講座
高橋 原氏
- 14時25分～【レスポンス】
龍谷大学文学部教授/実践真宗学研究科長
那須 英勝氏
日本学術振興会外国人特別研究員・僧侶
Rev. Nathan Jishin Michon 氏
望月 真世 (2年次生)・保々 光耀 (3年次生)
【まとめ】
高橋 原氏

第二部

- 15時15分～【総合司会】中山 晃耀 (1年次生)・宇佐美 智瑞 (1年次生)
【第二部進行】
龍谷大学文学部教授 ぐさかご No.2
森田 敬史氏
- 15時20分～【基調講演2】
「あそかビハーラ病院における僧侶の存在」
【講師】
あそかビハーラ病院前ビハーラ室長・ビハーラ僧
花岡 尚樹氏
あそかビハーラ病院ビハーラ僧
渡辺 有氏
- 16時10分～【レスポンス】
東北大学文学研究科教授
高橋 原氏
古谷 謙宗 (3年次生)・木村 正幸 (2年次生)
【まとめ】
花岡 尚樹氏・渡辺 有氏
- 16時40分～【謝辞】
龍谷大学文学部教授/実践真宗学研究科長補佐
杉岡 孝紀氏

〈お知らせ〉龍谷大学大学院実践真宗学研究科 2023年4月入学生募集

宗教を社会で実践するプロフェッショナルを育成します。

宗教実践・社会実践の2つの専門分野で多面的・重層的な学修を実施し、高い専門性と実践力を3年間で磨きます。

入学定員	募集人員	入試種別		受験地	出願期間	試験日	合格発表
30名	15名	春期試験		龍谷大学 (大宮キャンパス)	2023年1月4日(水) ～1月20日(金)	2月19日(日)	2月28日(火)
		一般入試	社会人入試				

